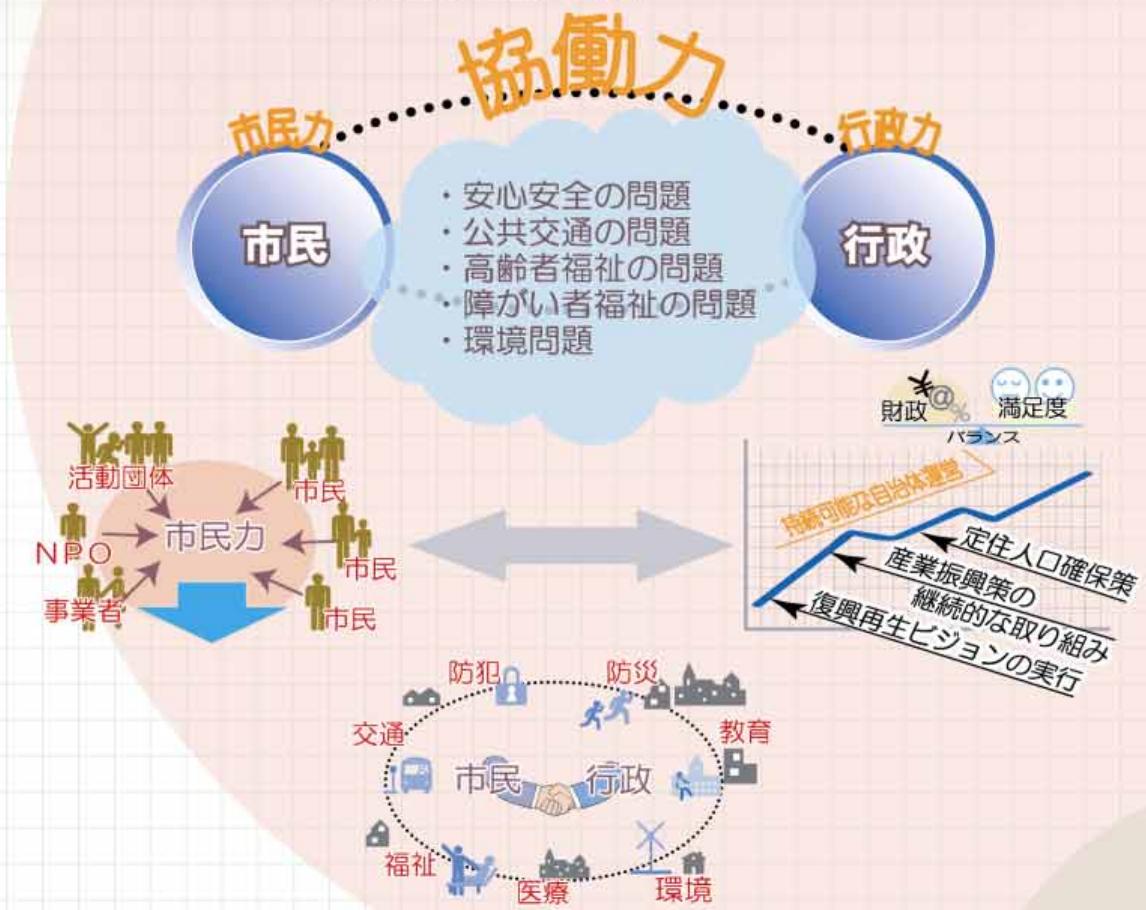


Project² 参りうけりプロジェクト

東日本大震災を契機として必要性・重要性が再認識されている“地域の絆”や“市民同士の絆”を深めるとともに、市民生活を将来にわたって守っていくための行政力を高めます。

そして市民と行政の絆、信頼を深めることで、市民協働による安心安全なまちづくり、暮らしやすいまちづくりに取り組みます。



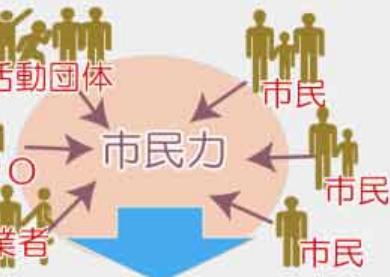
action plan 1

市民力を高めるアクションプラン

市民と市民の絆を強めるため、様々な制度や仕組みをつくり、市民活動団体や地域コミュニティの活性化支援などを行います。

そして、市民同士の関係を強め、お互いを気づかい、助け合う関係が市内全域に広がり、市民力が大きな力になって地域を創るまちづくりを進めます。

☆ 強い「絆」で結ばれた地域コミュニティの再生を目指します。 絆 1-①



後期基本計画に対応する施策番号 [2010202/2020102]

地域コミュニティの“場”と“機会”を地域の実状に応じて支援し、普段からの地域コミュニティの活性化を図ります。

例えばこんな事業に取り組みます

- 集落集会施設などの安全性向上や運営支援等に関する事業
- 地域環境保全（草刈りなど）に関する支援事業
- 地域住民の交流イベント（お祭りなど）への支援に関する事業
- 生涯学習施設（公民館など）でのボランティア活動に関する事業
- 地域の防災活動への支援（防災井戸・備蓄等）に関する事業

など

☆ 市民と市民の絆を補強するNPOなどの育成・支援を図ります。 絆 1-②

後期基本計画に対応する施策番号 [2010202/2020103]

NPOや市民活動団体については、事業提案制度や助成制度を設け、自主的な取り組みや新規団体設立について支援し、頑張る団体を応援します。

例えばこんな事業に取り組みます

- 市民の提案によって事業を行うまちづくり提案制度の設立
- 地域のまちづくりや市民協働に関する専門的なセクションの設立
- 市民活動を制度的・経済的・人的に支援する総合的な仕組みの検討

など

☆ 人と人との繋ぐ「新たな絆」づくりを行います。 絆 1-③

後期基本計画に対応する施策番号 [2010202/2020401, 02]

ボランティアセンターなどを通じて、ボランティア参加の裾野を広げるとともに、活動をしたい方と活動を必要とする方とをつなぐなど、ボランティアに参加する環境づくりを目指します。

例えばこんな事業に取り組みます

- ボランティアセンターの強化に関する事業
- ボランティア参加者の裾野を広げる普及啓発活動への支援

など

Q これから稻敷市に期待したい点などはありますか。

Q 市民力は高まっていますか。

Q 未来へ訪問!
5年後の市民にインタビュー

これからコミュニティ支援センターで開催される会議に行く途中にお聞きしました。

稻敷生まれの稻敷教育ちずっと稻敷を見てきたAさん

行政と市民との関係を更に発展させて、地域に必要な施設やサービスを官民協働で管理できるよう仕組みを作れるといいよね。

自治組織やNPO、市民活動団体から行政に対する提案をする機会を目にすることも多くなってきましたし、協働の推進拠点としてボランティアセンターが重要な機能を果たす姿を見ると、市民力は高まっていると思うよ。

昔のようないい方向に変わってきたのではないか。地域のコミュニティが、以前ど比べて良い方に変わってきたね。昔のよくなかったコミュニケーションや社会貢献活動とか、新しい趣味や社員登用なども増えてきたね。インターネットの普及で、年齢や家庭の事情に関係なく、自由に会話合いができる場が生まれていいですね。地域の様々な問題解決につながる。地域の様々な問題解決につながる。地域の様々な問題解決につながる。

5年前と大きく変わった点についてお聞かせください。

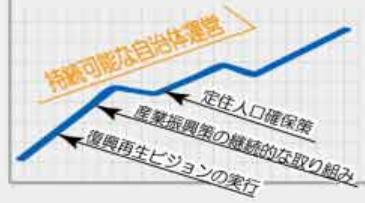
project 2 締づくりプロジェクト

action plan 2

行政力を高めるアクションプラン

財政
満足度
バランス

市民ニーズを踏まえ、満足度を高める行政運営を行うとともに、将来にわたって持続可能な自治体運営に向けて、震災前よりもさらに大きく成長する稲敷をつくりあげます。



☆ 将来にわたって持続可能な自治体運営に向けて、全庁あげて一丸となって取り組みます。 案2-①

後期基本計画に對応する施策番号【1020102~04/1020201~03/1020301, 04】

歳入に見合った歳出構造による健全な財政運営、積極的な事業展開を図る組織編成、能力や意欲の向上を図る人事管理を、総合計画の進行管理と有機的に連動させ、質の高い行政サービスを提供します。

- 例えばこんな事業に取り組みます ···
 - 適正な財政運営に関する事業
 - (例 各部局の総意工夫が予算に反映されるインセンティブ予算制度*の導入など)
 - (例 自主財源の確保につながる企業誘致など)
 - 人事評価制度の拡充
 - 証明書等の交付や休日窓口業務など行政サービスの改善
- 業務の効率化を図る組織の改編
 - (例 効率的かつ迅速な対応が可能なグループ制の導入)
 - (例 職員が複数の業務処理を行い効率的に業務に取り組むマルチタスク制度の導入)
- 市民満足度に立脚した総合計画の進行管理の確立

など

☆ 責任をもって復興再生ビジョンの実現化を図ります。 案2-②

後期基本計画に對応する施策番号【1030101/1030201/1040202/5010101.03/5010503/6030301/6060102~04, 06~07/6070203/6080101, 02/6080201~04/6080301~08/6080401~06/6130104/7030205】

稲敷市の総力を挙げて、市民生活の再生と産業・経済の再建に取り組みながら、市の防災拠点の中核となる統合庁舎（新庁舎）の建設を促進し、地域の防災機能の強化を図ります。それにより、震災前よりもさらに大きく成長する災害に強いまちづくりに取り組みます。

- 例えばこんな事業に取り組みます ···
 - 各種インフラ復旧に関する事業
 - 被災者支援に関する事業
- 地域防災計画の見直しに関する事業
- 防災拠点の中核となる統合庁舎（新庁舎）建設などに関する事業

など

☆ 自然豊かで、地域の人があたたかい“稲敷らしい暮らし”を次代に引き継ぎます。 案2-③

後期基本計画に對応する施策番号【1010103/5010102】

安定した就労環境を最重要課題としながら、定住人口の確保（人口の流出抑制）や地域の様々な資源を活かした創意工夫により、産業の活性化に取り組みます。

- 例えばこんな事業に取り組みます ···
 - 人口問題について総合的な視点で検討する「人口問題検討会」の実施
 - 市内事業所の連携強化を図る「（仮称）頑張る企業応援連絡会」の設立
 - 次代の農業を検討する（仮称）いなしき「未来の農業」研究会の設立

など

Q これから稲敷市に期待したい点
あなたはありますか。

未来へ訪問！
5年後の市民にインタビュー

転入手続きをため
に市役所に来たご夫婦にお話をお聞きしました。



action plan3

市民と行政の絆を深める アクションプラン

防災から医療、防犯、教育、福祉、交通、環境に至るまで多種多様な分野に対して、市民と行政が問題を分かち合い、それぞれが協力し合いながら取り組みます。



☆ 市民と行政の“信頼”をより深める、まちづくりの仕組みを考えます。 [計3-①]

後期基本計画に対応する施策番号【1020203/2010201/2020103】

市民と行政の協働関係の指針づくりや、市民との連携・協力関係を橋渡しする地域担当制など、市民と行政の関係づくりを深める制度の充実について検討します。

例えばこんな事業に取り組みます

- 「まちづくり条例」や「自治基本条例」の検討

- 地域の担当として住民と密接に関わる地域担当制の検討

など

☆ “安心・安全”なまちづくりに、市民と協力して取り組みます。 [計3-②]

後期基本計画に対応する施策番号【3020502、03/4010303/4030106/6090101、02/6090202、03/6100201、02/6100305/6110201/6120202】

大規模な災害時の対応から火災や救急医療、防犯に至るまで、“安心・安全”に関する問題を分かち合い、市民と行政の役割を明確にし、あらゆる事態にも対応できる、安心・安全なまちづくりに取り組みます。

例えばこんな事業に取り組みます

- 災害分野において市民と行政が協力する事業

- (例 地区防災組織の育成・強化や市全域を対象とした大規模防災訓練などの事業)
- (例 災害時の情報連絡体制などに関する事業)
- (例 災害弱者の保護体制に関する事業（学校長・消防団長・行政区長・民生委員との連携強化）)
- (例 防災意識の高揚に関する事業（防災総合ガイドブックの配布・災害記録の継承と活用））

- 防犯分野において市民と行政が協力する事業

- (例 自主防犯組織（青色防犯パトロールなど）の活動と支援に関する事業)
- (例 火災・救急医療分野において市民と行政が協力する事業（休日夜間などの緊急医療体制や自主的な健康づくりと健康管理を支援する事業、消防団活動支援に関する事業））

など

☆ “暮らしやすいまち”づくりに、市民と協力して取り組みます。 [計3-③]

後期基本計画に対応する施策番号【6040302/7010102/7010205/7010301】

“暮らしやすいまち”を目指して、お互いに知恵を出し合い、緊密な連携を図りながら、その普及にみんなで協力する体制づくりを目指します。

例えばこんな事業に取り組みます

- 地域生活インフラにおいて市民と行政が協力する事業

- (例 新たな公共交通事業導入に関する事業（民間事業者参入への支援やNPO等による運営）)
- (例 高齢者や一人住まいなど買い物が不便な住民を支援する買い物対策に関する事業)

- 環境問題関連分野において市民と行政が協力する事業

- (例 クリーンエネルギー推進に向けた取り組み支援等に関する事業)
- (例 CO₂削減に向けた取り組み支援等に関する事業（環境家計簿・地球温暖化実行計画）)
- (例 新エネルギー対策（太陽光・バイオマス*）に向けた取り組み支援等に関する事業）

など

定で効率的に利用する。協働して取り組みを進めよう。そのためには、地域の資源を最大限に活用する。また、行政と市民が連携して取り組むことで、地域の課題を解決するための新たな方向性を見出していく。これにより、地域の力を最大限に引き出すことができる。東日本大震災がきっかけで、行政と市民が協働して取り組むことの大切さが改めて認識されるべきである。

Q

これはいい!と思う取り組みを語ってください。

もともと行政と市民の立場での役割分担は、地域の力を使ううまくいく解消地帯に存在していました。しかし、東日本大震災がきっかけで、行政と市民が協働して取り組むことの大切さが改めて認識されるべきである。

Q

協働の関係を高めている背景には何があるのでしょうか?

自分たちの仕事上の技術を社会貢献に活かしたいなと思っていました。市外居住者でも、稲敷市のまことに週末だけボランティアとして参加しているんだ。ボランティアとして参加していけるんだ。ボランティアとして参加していけるんだ。

Q

稲敷市を応援したくなつた理由をお聞かせください。

未来へ訪問!
5年後の市民にインタビュー

ボランティアのお手伝いをしている所におじゃまして、お話を聞きしました。

稲敷出身で現在は都心に居住して稲敷を応援するCさん

